

経営比較分析表（令和4年度決算）

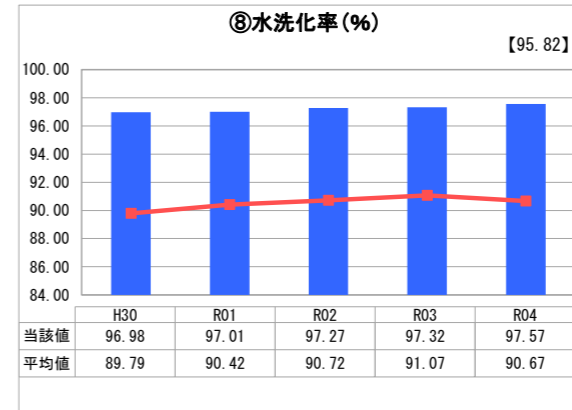
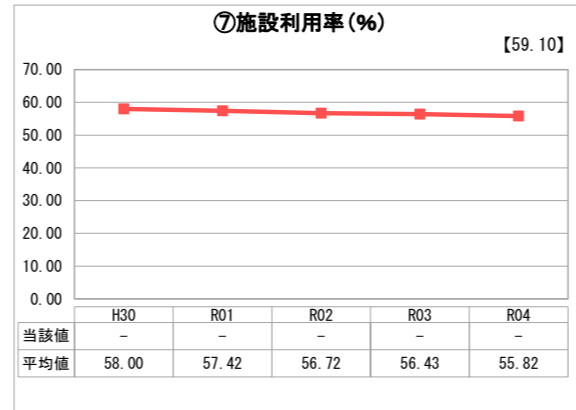
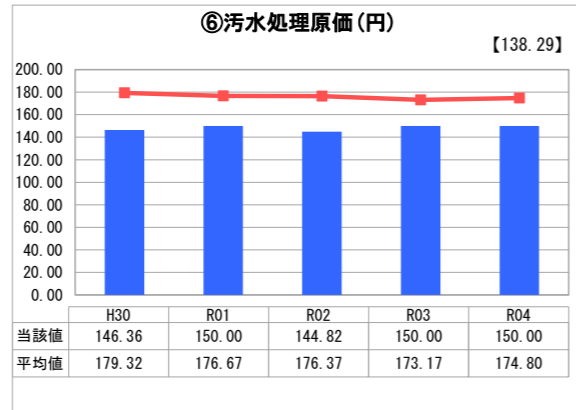
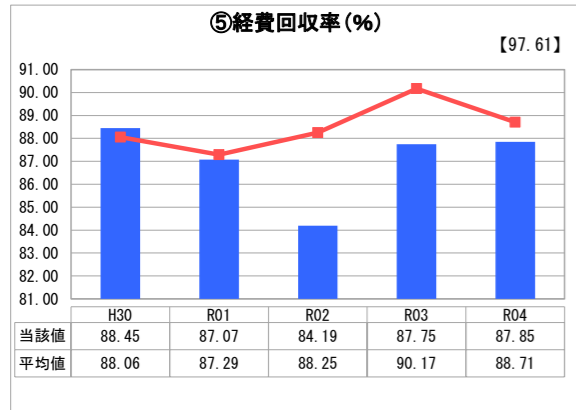
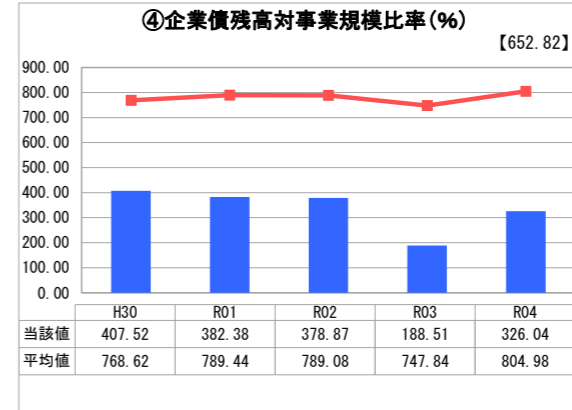
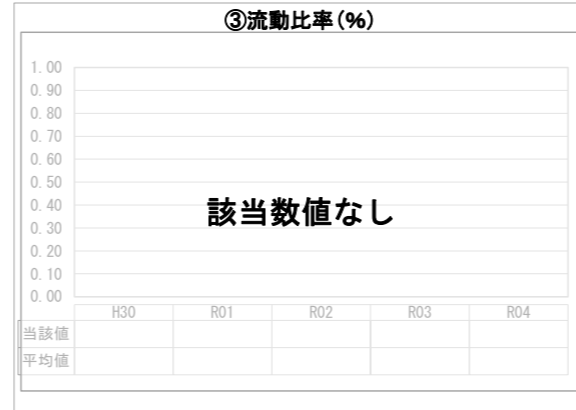
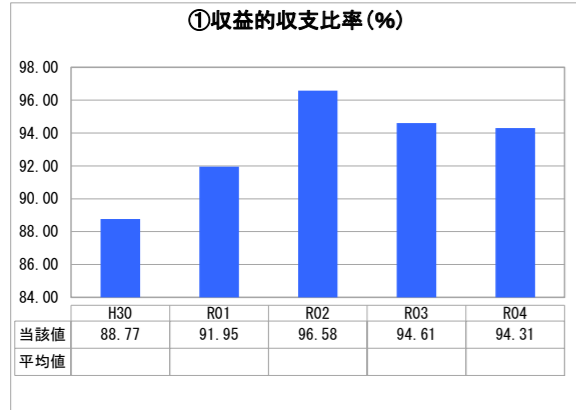
茨城県 利根町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	88.34	89.20	2,640

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,409	24.86	619.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,536	3.93	3,444.27

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
主に地方債償還金が多く、過去5年間の平均は約93%となっている。地方債償還金額は年々減っているため、今後さらなる改善が見込まれる。

④企業債残高対事業規模比率
類似団体平均値と比較すると、令和4年度は326%であり、平均値(804%)の半分以下と極めて低くなっている。今後も適切な更新事業を行いながら、この水準を保てるよう努めていく。

⑤経費回収率
類似団体と比較し、平均的な経費回収率と言える。今後は、適正な使用料収入を確保することで経費回収率の改善に繋がるよう、料金改定を視野に入れた検討をする必要がある。

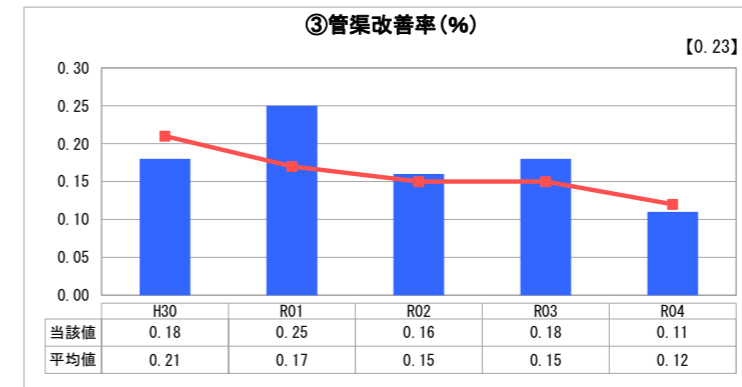
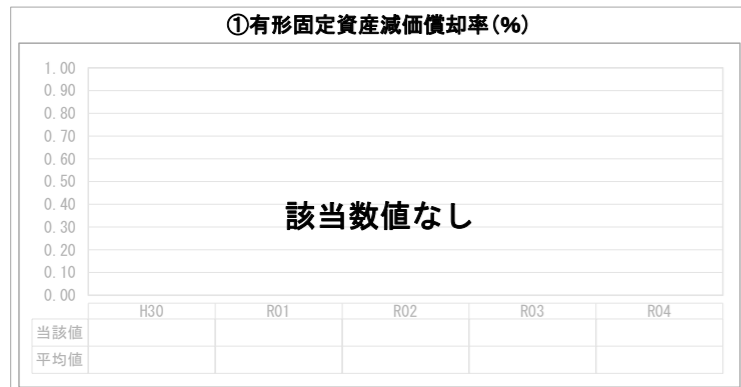
⑥汚水処理原価
類似団体の平均汚水処理原価と比較し、当町の汚水処理原価は低いと言える。汚水処理原価とは、有収水量1m³あたりの汚水処理費であるが、汚水処理費＝使用料収入とすることが健全な下水道財政に向けた経営であると言える。今後は維持管理費が増加するなか、汚水処理費の削減に努め、効率的な経営に取り組んでいく。

⑧水洗化率
類似団体と比較すると、高い水洗化率である。今後もこの水準を保てるよう、住民に向けた下水道の普及・啓発に努めたい。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
平成25年度まで汚水管渠新設工事を行ってきたが、30年以上経過している汚水管渠が67kmと全体の68%を占めている。平成27度から汚水管渠更生工事を開始し、汚水管の耐震化・長寿命化を進めている。類似団体と比較すると、平均的な管渠改善率と言える。

2. 老朽化の状況



全体総括

当町の公共下水道事業は、企業債残高対事業規模比率と水洗化率に関しては、現在の水準を今後も維持する。収益的収支比率と経費回収率については、改善に向け、使用料金の見直しを検討する必要がある。今後も健全な事業継続のために、経営状況を比較・分析し、当町における問題点を明らかにしながら経営改善を図っていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。